

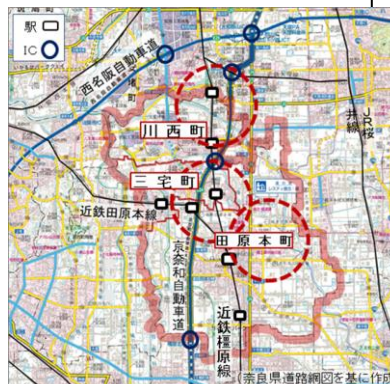
1 スーパーシティとは

- 各地域の持つ社会的な課題を最先端のテクノロジーによって一挙に解決してより便利で快適な都市を作ろうという取組み。「まるごと未来都市」
- 国においては、国家戦略特区法に基づく「スーパーシティ区域」の1次募集が既に行われた。令和3年度末頃に第2次募集の見込み。

2 大和平野中央プロジェクトとは

- 県の重要課題である**若者の県外流出の抑止、県内企業の人材確保、若者、女性、高齢者の再教育と雇用の創出、世界に通用する人材育成**を図るため、大和平野の中心部に位置する磯城郡3町(川西町、三宅町、田原本町)と県が協働で取り組むプロジェクト
- **奈良県立大学理工系第2学部の設置**を決定するとともに、10年後の国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会に必要な**主要なスポーツ施設の新設**を決定
- R2.10 3町と地域活性化に寄与する拠点施設の整備について協議を開始する覚書締結。
- R3.5 それぞれの町と個別に「まちづくりのテーマ」と「対象地区」を決定する協定を締結

テーマ	対象地区
・ まほろば健康パークと連携した ウェルネスタウン (健康増進)	川西町下永地区
・ 県立大学工学系学部を核とした スタートアップヴィレッジ (産業の活性化)	三宅町石見地区
・ スポーツ施設を核とした ウェルネスタウン (健康増進)	田原本町阪手北・西井上地区



3 大和平野中央プロジェクトからスーパーシティ構想へ

- 国のスーパーシティ構想の目的である**先端的サービスの実行と広範かつ大胆な規制・制度改革は、大和平野中央プロジェクトの目標と一致**することが多く、国の戦略推進に寄与できることも少なくないことから、国のスーパーシティ区域の第2次募集を視野に入れ、検討を開始。
- 奈良県と磯城郡3町は、コンソーシアム形式によるシンポジウム中心の検討会をスタート(R3.11~)
- 令和3年度末に予定される国のスーパーシティ構想の第2次募集を目指して、2月末には構想案をまとめる予定

【大和平野中央プロジェクトの事業目標】

- ①雇用の場の確保と若者の県外流出抑止
- ②人材育成と県内企業の人材確保
- ③県内の若者、女性、高齢者の再教育
- ④こどもから高齢者までの県民の健康で健全な生活の維持向上

【スーパーシティの構成】



大和平野中央スーパーシティ構想に盛り込むテーマ候補

A 知的な大和平野の創造

- ・ 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップビレッジ
- ・ 大和平野地域雇用戦略の実行
- ・ **就学前教育～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～**
- ・ 地域のリカレント教育

B 健康長寿の大和平野創造

- ・ 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設
- ・ 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進

C 大和平野田園都市の建設

- ・ 田園都市建設構想の実現
- ・ 地域内移動の円滑化
- ・ 安全・安心まちづくり
- ・ 農業の省力化、効率化、高度化

D 脱炭素社会への挑戦

- ・ 大和平野シュタットベルケ構想(エネルギー脱炭素への挑戦)

E デジタル社会の構築

- ・ 大和平野中央デジタル化の推進
- ・ 行政運営効率化と地方政治の見える化

F 推進体制の整備

- ・ 周辺県施設の整備運営との連携
- ・ 推進組織の構築(PPPPの実行)

4 スーパーシティ構想に盛り込みたい子どものはぐくみ

「大和平野中央スーパーシティ構想」の中で、県と磯城郡3町による子どもや子育てに関する取組として、下記の項目をモデル実施することを検討

1 就学前児童のはぐくみの一体的な実施

(1) 「はぐくみ園」による幼保一体化

- 大和平野中央版「就学前はぐくみ要綱」(県・3町合同教育振興大綱)の策定
- 3町内の就学前教育施設を「はぐくみ園」とし幼保一体化
- 待機児童を発生させない広域保育
- 3歳以上児の「無園児」(保育所・幼稚園に通っていない「未所属児童」)を無くす
- オンラインを活用した最先端の就学前教育の実践

(2) 0歳児からの就学前教育の実践

(ミエリネーションにより、神経と筋肉の発達を促す)

- 「奈良県版就学前教育プログラム・はばたくなら」の実践
- 自然保育の推進

(3) インクルーシブ保育(特別な支援を要する子どものはぐくみ)

- インクルーシブ保育の実践
- 病児保育の3町共同実施
- 医療的ケア児の広域保育

(4) 地域に開かれた子育て支援の拠点づくり

- 親子になじみのある身近な就学前教育施設におけるすべての子育て家庭を対象とした子育て支援
- 子育てシェアリングエコノミーの活動を支援

(5) 質の高いきめ細かな保育・就学前教育を推進するための体制の充実

- 保育人材の確保
- 質の高い保育人材の育成
- 手厚い職員配置
- 保育士等の処遇改善
- ロボット・AI・ICTを活用した保育現場の働き方改革

2 放課後児童対策 ~放課後児童クラブを「預かり」から「はぐくみ」の場へ~

(1) すべての小学生のはぐくみ

- すべての小学生の豊かなはぐくみを推進するため、親の就労の有無に関わらず、放課後児童クラブの利用を希望する児童を受入れ

(2) 放課後はぐくみプログラム

- 多様な体験、遊び、交流活動等魅力的なプログラムの実施
- 「まち」全体を放課後のはぐくみの場に

(3) インクルーシブ学童保育(特別な支援を要する子どものはぐくみ)

- 放課後等デイサービス(障害児の放課後の預かり)等、障害児支援サービスと連携したインクルーシブ学童保育の実践

(4) 質の高いきめ細かな放課後のはぐくみを推進するための体制の充実

- 支援員の確保・定着支援
- 手厚い支援員の配置
- ICTを活用した学童保育現場の働き方改革

3 こども食堂 ~安心・安全で楽しく過ごせるこども食堂~

(1) 各小学校区に常設こども食堂を開設

- NPO等が地域の多様な人と連携して各小学校区に開設できるよう支援
- 安心・安全のこども食堂の認証

(2) 食材・食品の安定供給

- 地域から提供される食材等を集積する拠点設置
- 連携協定締結企業との協働

(3) こども食堂の多機能化

- 「地域まるごとこども食堂」
- 「はぐくみのこども食堂」